

はまだ

HAMADA SHIGIKAI DAYORI

市議会 だより

2006年(平成18年)5月1日発行
はまだ市議会だより Vol. 2

主な内容 頁

定例市議会のあらまし ····	2
決算特別委員会 ······	3
予算審査特別委員会 ·····	3
議員研修会の開催 ······	4
一般質問に23名が登壇 ····	5
委員会審査結果一覧 ·····	11



●マリン大橋（浜田港）

平成18年
3月定例市議会の
あらまし

平成18年3月浜田市議会定例会は2月23日に招集され、会期を3月23日までの29日間として開催しました。

今議会では、市長より平成18年度の市政全般の基本的な方針（施政方針）を『公務員制度改革や地方交付税の見直し、三位一体の改革など、地方行政に大きな影響を与える改革が強力に推進されている。当市においても、更に厳しい財政状況が予想されるが、合併効果を最大限に發揮するとともに、引き続き行政改革を推進し、効率的な市政運営に取り組みたい』等と述べられました。

今回市長から提案された案件は、合併以前の各市町村の平成17年4月1日から9月30日までのそれぞれの一般会計及び特別会計の歳入歳出決定認定が7件、専決処分の承認5件、条例改正31件、指定管理者の指定44件、その他2件、報告3件、補正予算10件、新年度予算15件の合計117件が提出されました。議会からは、人事関係1件、意見書1件が提出されました。

これらの議案の内、専決処分の承認、人事案件等6件については、委員会付託を省略し原案どおり可決しました。それ以外の報告を除く議案は、所管の常任委員会に付託し、また歳入歳出決算認定については特別委員会を、予算については予算審査特別委員会を設置して慎重に審査いざれも本会議で、原案どおり認定又は可決しました。

請願は、1件を採択し、請願に伴う意見書1件も可決し国等へ送付しました。

本会議で審議された

主な議案の内容

〔予算関係〕

▼ 平成17年度浜田市一般会計補正予算（第3号）

この補正予算は、地方譲与税や特別交付税等の確定等に伴う調整、決算見込みにより歳出不用額の調整で歳入歳出総額3億4千53万1千円を減額し、補正後の予算総額は、242億9千603万6千円とするものです。

▼ 平成18年度浜田市一般会計予算

平成16年9月17日から施行された武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律、いわゆる国民保護法の規定に基づき、市町村においても国民保護協議会を設置することが定められており、同協議会を設置するため、

い極めて厳しい財政状況にあります。このような状況を踏まえ、当初予算の編成に当たりましては、合併協定に基づく新市まちづくり計画の実現に向け、中期財政計画とともに概算要求基準を設定し、合併効果の実現を図りつつ歳出全般にわたる見直しを進めました。この結果、歳入歳出予算の総額は357億9千万円となり、合併前の旧5市町村の当初予算総額と比較して、金額で8億4千406万5千円の増、率にして2・4%の伸びとなっています。

合併特例債を財源として積み立てて、合併特例債の活用が認められています。この基金は、主にソフト事業を推進する果実運用型基金で、合併年度を含む10年間で、合併特例債を財源として積み立てるもので、浜田市の場合、10年間の基金総額は20億1千万円と試算しています。旧合併特例法の趣旨に沿って、浜田市まちづくり振興基金を設置するために制定しようとします。

〔条例関係〕

▼ 浜田市総合振興計画審議会条例の制定について

昨年10月1日の合併に伴い、浜田市の将来像とまちづくりの指針となる基本構想の策定に当たり、附属機関として「浜田市総合振興計画審議会」を設置するため制定するものです。

▼ 浜田市国民保護協議会条例の制定について

4月1日から新たに指定管理者制度の導入を予定している施設、あるいは既に制度を導入し、指定期間が満了する施設について、指定管理者となる予定者を選定し、地方自治法の規定に基づき、議会の議決を求めるものです。

▼ 浜田市農業委員会委員に推薦しました

国の平成18年度の地方財政対策において、普通交付税等の一般財源額は昨年並みに確保されました。浜田市議会を設置することが定められており、同協議会を設置するため、

条例を制定するものです。
▼ 浜田市まちづくり振興基金条例の制定について

浜田市まちづくり振興基金条例

○岡田 治夫さん（議員）
○林 秀司さん（熱田町）
○佐々木京子さん（田橋町）
○岩田 功さん（弥栄町）

議員研修会の開催

議員の資質の向上を図ることを目的に、合併後初めての議員研修会を平成18年1月23日に議員34名、また一般職員も参加し開催した。

講師は前埼玉県志木市長の穂坂邦夫氏が「明日の地方自治のために」と題して講演され、財政の厳しい時代こそ地方の改革と自立のチャンスと徹底した情報公開で市民と問題意識を共有し、市民、職員の声を聞き、さまざまな発想を改革に結びつけた事例を紹介、行財政改革における将来像を見据えることの必要性を力説された。

議員からは、ラスパイレス指數の減少方法、市長時代の予算歳出額の市内への支出の配慮、市民との対話の方法について等の質問があつた。

また、浜田ひまわり基金法律事務所の田上尚志弁護士は、多重債務の救済について「あなたの知らない世界」と題して講義され、高金利で貸し付けていた消費者金融会社に対して、各地で過払い金返還などを命じる判決が相次いでいることを



議員研修会受講風景

説明、本来返さなくてもいい借金返済に追われ、市税や公共料金の未払い、家族崩壊や自殺に追い込まれていることを指摘、違法な金利で多重債務となつた人たちの生活立て直しのための支援は、地域や行政にとつてもメリットがあると述べられ、行政と法律家が連携する相談窓口の必要性を強調された。

この研修で得たことを議員一同市政に十分反映させ、当市発展のため努力を傾注して参ります。

指定管理者制度とは、これまで公の施設の管理は、地方公共団体や公共的団体に限定されていましたが、平成15年の地方自治法一部改正（9月2日施行）により、「管理委託制度」が廃止され、新たに「指定管理者制度」が創設されました。

この制度は、公の施設の管理にあたつて、多様化する住民ニーズに効果的に対応するため、民間能力を活用し、営利法人やNPOなどによる施設管理を行うことにより、市民サービスの向上と経費の節減を図ることなどを目的としています。



指定管理者制度により指定された
「浜田市世界こども美術館」

指定管理者制度導入により期待される効果

- 住 民：公の施設のサービス向上
- 行 政：住民ニーズへの効果的な対応、施設管理の効率化・経費節減
- 民間事業者：公共分野での事業機会の拡大

この制度により、法人・団体には、条例の定めにより、議会の議決を経て期間を定めて指定する必要があることから、3月定例会において、浜田市世界こども美術館創作活動館など44施設の指定管理者の指定について、議会の議決を求める議案の提出があり、各所管委員会において慎重に審議した結果、全ての議案を原案どおり可決しました。

（各常任委員会での審査結果及び施設名称は11・12ページの「委員会審査結果一覧」をご覧ください。）

一般質問

平成18年5月1日発行

はまだ市議会だより

高齢者の生活安心度 向上対策について

三浦一雄議員

金城自治区の小国、久佐、 美又小学校の閉校後の 利用について

原田義則議員

「新たな水田農業施策」への 対処と、森林整備について

美浦美樹議員

高齢者による地域づくり 下水道事業について

三浦保法議員

- ① 緊急通報装置設置登録者件数と利用状況・苦情は、どのように認識しているか問う。

② 日中の独居高齢者世帯対策で、緊急通報システムを利用したい希望者に対し一定の基準を満たさないため設置されていないが、支援策を拡大解釈できないか問う。

③ 健康・福祉行政出前講座の開設することにより、高齢者に安心感を持つていただく健康増進対策の取り組みについて問う。

- ① 3校は児童の減少に伴い3月末を持って、閉校し雲城・今福小学校へ統合するが、閉校後の利用について、地元の要望をどの様な事が検討されているのか問う。

② 弥栄自治区単独の林業活性化事業は、民有林の整備に有効と思うが、市全体の事業としてはどうか、また島根県の「県民再生の森林事業」など積極的に活用してはどうか問う。森林の整備は浜田市漁業の振興につながる。

- ① 平成19年から水田農業の新たな施策が実施される。中山間地域の小集落では対応が困難視される。早い対応について問う。

② 市民が快適で健康的な文化生活を営むために必要な、浜田市中心市街地における下水道事業をどのように進めていくのか問う。

- ① 高齢者が住み慣れた地域において心身とも健康で生きがいを持ちながら生活するためには、永年培われた経験や知識、技能を発揮できる場の確保や社会参加の推進が重要で、自治区に事務所が開設ができるよう働きかけをしたい。

② 市街地の環境整備は下水道事業が最も効果的であるが、厳しい財政状況からいまだ計画されていない。今後、ソフト面からも啓発活動を実施しながら浄化槽設置整備事業等も導入し、環境整備を進めていく。

- ① 装置の登録世帯は522世帯、内、介護認定を受けている世帯は217世帯で約4割となつていて。利用者の反応も良好で、今後2カ年で浜田市統一システム整備する。

② 特定の基準で実施しているが、行政連絡員を通して実態調査を行う。

③ 4月から設置の『浜田市地域包括支援センター』を中心に検討する。

- ① バス交通システムについて
② 地積調査事業について

その他の質問

水産浜田市の漁業活性化について

て

その他の質問

水産浜田市の漁業活性化について

- ① 平成18年度を組織づくりの準備期間とし、対象集落の全てに集落営農組織を設立する。

② 国や県の事業を取り入れながら、適切な森林整備が継続的になされる仕組みと、海を豊かにするあり方を検討する。「県民再生の森林づくり事業」については、対象者にこの制度に関する情報の提供に努める。

- ① 高齢者が住み慣れた地域において心身とも健康で生きがいを持ちながら生活するためには、永年培われた経験や知識、技能を発揮できる場の確保や社会参加の推進が重要で、自治区に事務所が開設ができるよう働きかけをしたい。

② 市街地の環境整備は下水道事業が最も効果的であるが、厳しい財政状況からいまだ計画されていない。今後、ソフト面からも啓発活動を実施しながら浄化槽設置整備事業等も導入し、環境整備を進めていく。

国民健康保険事業の展開について

木村まさ行き議員

地域振興窓口の一本化 女性の活動を支える体制づくりについて

角田勝幸議員

生活安全まちづくり 条例の制定について

新田勝己議員

民間の錢湯廃業に伴つ 行政支援について

佐々木豊治議員

質問

保険証一枚あれば、誰でも必要な医療が受けられる公的医療制度が、いま崩れ去ろうとしている。

国民健康保険も、貧困が広がる中で保険料滞納世帯への保険証取上げで命を落とす事例さえある。
 ① 浜田市の国保料滞納と資格証や短期証の発行状況を問う。他市より低い収納率をどう高めるのか。
 ② 国保の基金残額と使途計画について問う。国保料の引下げ等へ有効活用する事を強く求めたい。

答弁

① 滞納世帯は715、資格証明書対象数は92世帯あるが交付はしていない。短期証の交付は362件、生活実態を考慮し慎重に取扱っている。保険料の収納率は低く今後一層収納向上に努めたい。
 ② 基金は自治区間に格差があるが、合計21億2千万円余である。その一部を段階的に保険料の激変緩和に当てると決められている。他の事業計画は今後調整する。

質問

地域振興を進めるなかで、地域で活動する人は、同じような顔ぶれで動いているのが、実態である。

行政側も地域への窓口を一本化して、地域の課題が同じ土俵で話し合うことにより、地域として、全体的に受けとめることが可能となり、できるところから窓口を一本化できないか問う。

又、女性組織について、女性政策室を設置してはどうか問う。

答弁

浜田市としても、住民の皆さんとの連携を一層充実させていくことが、住民と行政との「協働によるまちづくり」であると認識している。
 部、課の枠をこえて、できるところから進めていきたい。
 女性政策室については、企画課で対応していきたい。

その他の質問

- ① 「水と緑の森づくり税」について
- ② 浜田・三隅道路と街づくり構想の策定について

答弁

① 「安全・安心」が連日報じられている。旧浜田市議会において条例制定について質問し、新市で検討すると回答がありその進捗状況を問う。

② 安心の確保として放課後児童クラブが設置されているが、実態について問う。

質問

昨年10月に、浜田市内に唯一の民間の錢湯が廃業された。

これに伴い、自宅に風呂が無く今までこの錢湯を利用されていた住民の方々が、大変不便な生活を余儀なく強いられている。

益田市での支援事例など参考にこの切実な問題に対し、行政として支援が出来ないか問う。

答弁

益田市の事例も調べ、何とか同じような対応が出来ないか、至急に検討する。

錢湯は公共的な面もあり、ぜひ期待に添えるように、全力をあげて、問題解決に取り組む。

その他の質問

- ① 全通学路の安全点検について
- ② 児童生徒の防犯教室について
- ③ 不審者情報共有体制について
- ④ スクールガードについて
- ⑤ スクールガードリーダー導入について

環境問題と 環境整備事業について

吉田千昭

除雪サービスについて

島本鎌利議員

住民参加の まちづくりの推進について

おお
たに
ひろ
ゆき
議員

風力発電機建設に伴う 市民生活への影響について

西村 健議員

質問

- ① 新浜田市の下水道整備事業の普及率について、今後の見通しと将来に向けてのビジョンを問う。
② 浜田市栄町ロータリーの公衆トイレ改修について問う。

- る。
① 平成16年度末では平均37%、
平成20年度末に45%達成とし、愚
の示している普及率72%とする第
三次汚水処理施設整備構想の決定
したなかで、個別処理型浄化槽の
整備も進めながら効率化とコスト
縮減で努力していく考え方である。
② 観光都市浜田市のイメージに
合うよう、又市民の要望もあり、
財政の厳しい状況ではあるが、早
い時期に対処していく考え方であ

答弁

- 除雪は高齢者、身障者世帯にとって到底不可能であり、他人に頼るしかない。

浜田市独自での、有償ボランティアによる除雪サービス制の導入について問う。

答
弁

- ⑤ ④ ③ ② ①
住民自治組織について
まちづくり事業予算について
意見や提案の吸収について
市民活動の情報について
社会教育の推進について

答
卷

- 県企業局は、江津市の高野山に羽根の直径90mの風力発電機を9基、東西約3kmにわたり設置する大規模な工事を計画している。

建設場所の南には下有福町の溜池が約10箇所あり、生活用水や農業用水に影響が出るのではないかと心配する住民の声がある。特に、工事完了後の県の対応について不安が大きいようだがどうか。

答
卷

- 昨年の11月に地元説明会が開催された。その時に、工事の影響を心配する地元住民の声があり、企業局は、事前・事後の水質調査を行い、影響が出た場合は対応すると説明した。詳細については、3月に再度開催される説明会で明らかにされるものと思う。

市も企業局に対し、十分な対応をするよう要望していく。

をす

- その他の質問
在日米軍機の訓練飛行への対応について

その

- 在日米軍機の訓練飛行への対応について

二

**浜田商工会議所の
移転新築について**

澁谷幹雄議員

答弁 新可燃ごみ処理場の稼動を考慮しながら、検討したい。

答弁 家庭ごみ収集で、リサイクルやゴミの分別に市民の積極的な協力を得ているという評価なら、市民への感謝を込めて、夏場の3ヶ月以外も、浜田市は、祭日には必ず、「可燃ゴミ」の収集をおこなうべきではないか。

質問

**家庭ごみ収集の、
祭日における実施について**

答弁 浜田市は、移転後の浜田医療センター跡地の有効利用と新産業の創出、広島経済圏との交流や対岸貿易の拠点として、また産業振興に対する新生浜田市の明確な意思を市民に示すためにも、商工会議所や地元の経済人と連携を取り、跡地に浜田商工会議所の移転新築を検討する価値があるように思うが、そのような考えはないのか。

答弁 候補地等の側面的な支援に努めたい。

質問

浜田市は、移転後の浜田医療センター跡地の有効利用と新産業の創出、広島経済圏との交流や対岸貿易の拠点として、また産業振興に対する新生浜田市の明確な意思を市民に示すためにも、商工会議所や地元の経済人と連携を取り、跡地に浜田商工会議所の移転新築を検討する価値があるように思うが、そのような考えはないのか。

質問

① 新市の産業振興施策を問う。② ブランド化推進施策を問う。③ マリン大橋の構想を問う。

**浜田市の産業振興と
雇用の確保について**

道下文男議員

答弁 その他質問 ① 安心して子どもを産み育てられる環境づくりについて ② 子ども達との交流による、高齢者の健康・福祉施策について

その他質問 ① 安心して子どもを産み育てられる環境づくりについて ② 子ども達との交流による、高齢者の健康・福祉施策について

質問

答弁 ① 雇用は定住を促進し魅力のあるまちづくりを進める上で非常に重要であり、企業誘致・新産業創出・既存産業の活性化を図ると共に、地域の特性を見据えた独自のビジョンで、より積極的に推進する。② 「売れるものづくり」の重要な戦略として全面的に支援をし、取り組みの強化を図る。③ 瀬戸ヶ島地区の今後の土地利用も含め、ゆうひパーク・お魚センターと共に当市の活性化のための起爆剤として位置づけ、関係機関と連携し、利活用推進を図る。

答弁 ① 新市の産業振興施策を問う。② ブランド化推進施策を問う。③ マリン大橋の構想を問う。

質問

① 新市の産業振興施策を問う。② ブランド化推進施策を問う。③ マリン大橋の構想を問う。

少子化対策について

三浦美穂議員

その他質問 ① 安心して子どもを産み育てられる環境づくりについて ② 子ども達との交流による、高齢者の健康・福祉施策について

質問

答弁 ① 延長保育や一時保育などサークル拡充に努める園が増加している。病後児保育は子育てと仕事の両立支援や、子育てに不安を持つ保護者に対する支援を拡充している。市のホームページ上に「子育て応援サイト」を立ち上げた。② 小児救急医療は小児科専門医の協力が不可欠である。現状は十分な体制がとれないが、医師一名を増員し中山間地域の国保診療所に土曜日外来診療と小児専門外来を実施する。

答弁 ① 当市は国が指定した子育て支援総合推進モデル市町村に県内で唯一指定をうけ、次世代育成支援計画を策定したが、その進捗状況を問う。② 夜間の小児科医による小児救急診療のとりくみについて問う。③ 浜田地区広域行政組合や、浜田市としても、保険料の改定は、やむを得ないとしている。第3期の引き上げが必要であるとすれば、市民に適切な説明と理解を求める必要があると思うが、所見を問う。

質問

① 当市は国が指定した子育て支援総合推進モデル市町村に県内で唯一指定をうけ、次世代育成支援計画を策定したが、その進捗状況を問う。② 夜間の小児科医による小児救急診療のとりくみについて問う。③ 浜田地区広域行政組合や、浜田市としても、保険料の改定は、やむを得ないとしている。第3期の引き上げが必要であるとすれば、市民に適切な説明と理解を求める必要があると思うが、所見を問う。

介護保険料について

岡田治夫議員

その他質問 「連携」と「挑戦」「効率」と「安全」をキーワードとした市政運営について

質問

答弁 介護サービスの需要の増加、介護保険制度の改定、財政安定化基金からの借入金償還等で、負担が増えますが、介護保険制度を、安定的に持続するため、市民の理解と協力を得たい。公民館での説明会、広域圏だよりや広報はまだへの掲載、パンフレットの全世帯配布などを通じ、理解を得たい。

答弁 ① 当地域の介護保険料については、他圏域の保険料同様、大変厳しい状況にある。浜田地区広域行政組合や、浜田市としても、保険料の改定は、やむを得ないとしている。第3期の引き上げが必要であるとすれば、市民に適切な説明と理解を求める必要があると思うが、所見を問う。

質問

① 当市は国が指定した子育て支援総合推進モデル市町村に県内で唯一指定をうけ、次世代育成支援計画を策定したが、その進捗状況を問う。② 夜間の小児科医による小児救急診療のとりくみについて問う。③ 浜田地区広域行政組合や、浜田市としても、保険料の改定は、やむを得ないとしている。第3期の引き上げが必要であるとすれば、市民に適切な説明と理解を求める必要があると思うが、所見を問う。

一般質問

平成18年5月1日発行

はまだ市議会だより

答弁
質問された行革大綱の答申では、聖域なき行革に取り組み、行政組織と運営を見直すと明記され、一人の職員が何人の市民を支えているか疑問を持ち、市長部局の職員を対象に調べた。浜田自治区では、4万5906人の市民を336人で支え換算すると一人で136人となり、旧那賀郡の自治区では少ない所で一人で43人、55人、多い所で105人、107人を支えている。この状況は地域格差や行政サービスに不均衡が生まれる。

行革の原点に沿つて各支所の行政事務を抜本的に見直し適正な職員配置について考え方を問う。

答弁
質問
財政が圧迫する中、各団体への補助金等の見直しが必要と考えるが、今後の支出方針について、また具体的な例として、任意団体である「市職員共済会」へ約1千万円という多額の交付金の妥当性はあるのか。さらに補助金・負担金等を拠出している各団体への監査も今後求められる方向と認識しているが、当市の状況を問う。

答弁
質問
支出方針については補助金等の必要性、金額の妥当性について予算編成の中で検討しており、補助金等交付規則、財務規則に基づき適正に執行していく。また「共済会」への支出に関しては福利厚生支援のため総人件費0・3%という応分の負担と理解している。

各支所職員について、合併論議の中で自治区の在り方と地域が寂れないようにと言う事である意味での約束ごとであり根幹にふれないと取り組みたい。住い部分での見直しは当然行う。住民の理解が得られる方向できちんと取り組みたい。

向むかい 悅あつ 雄お 議員

川かわ 神かみ 裕ひろ 司し 議員

安定した財源確保と 行政効率化の推進について

西にし 田だ 清きよ 久ひさ 議員

公民館活動と 景観保存等について

平ひら 石いし 誠まこと 議員

小学校の英語教育について

質問
① 雲城小学校は、文部科学省により英語教育の研究開発校に指定されているが、これに対する評価及び成果、また市内小学校における英語教育の現状について問う。

② 体育指導委員の定数61人が、ボーツ推進員制度との関連を問う。

③ 浜田市の景観と文化保存のため、石州瓦利用促進助成制度を実施できないか問う。

① 各公民館の活動内容、勤務形態には違いがあり、各自治区間の合併前の給与体系にも大差がある。役職や勤務時間で調整している。

② 体育指導委員の定数は、公民館単位を基本にプラスアルファーを含めて36名になった。スポーツ推進員制度は、地域のスポーツ活動を自主的、積極的に推進することを目的として、公民館から選出する制度である。

③ 平成16年12月に石州瓦工業組合から助成制度の要望があつた。今後、地域振興策として検討する。

質問
① 雲城小学校では、低学年で年間25時間、中・高学年で70時間学習しており、積極的にコミュニケーションを図ろうとする児童の姿に学習の成果が見られる。市内においては、総合的な学習の時間に年間5~6時間程度ゲームを中心とした取り組みを行っている。

② 新年度においては、引き続き雲城小学校の事業を支援し、そのノウハウを市内の小学校で共有すべくマニュアルを整備する。今後については、新年度に作成する教育方針に小学校段階にふさわしい英語教育のありかたについて盛り込んでいく。

答弁
質問
現在所管課が必要に応じて検査しているが、今後は適正な監査も必要と認識し監査システムも研究していきたい。

障害者自立支援について

江角敏和議員

- ① 4月から実施する障害者自立支援の概要と市長の評価を問う。
- ② 周知・相談方法とサービス基盤は万全か。また窓口手話通訳の週5日体制の実施時期は。自立支援制度と市単独福祉医療費自己負担軽減事業はリンクするか問う。

質問

- ① サービス体系の一元化や財源の義務的経費化と共に利用者負担が大幅な変更となるので減免制度を含め状況を注視していきたい。
- ② 周知は郵送や障害者支援センターでの相談受付、保護者会でも説明会を実施し、今後広報への掲載も行う。基盤整備は、今後「障害者福祉計画」に盛り込み順次整える。手話通訳は新年度から5日体制とし、要約筆記等も新年度中に実施したい。軽減はリンクする。

答弁

観光振興について

鎌原ヤシロ議員

- ① 観光入り込み客は、平成11年、12年をピークに減少し、交流人口の拡大が課題となつてている。
- ② 昨今の、入り込み客の減少をどのように分析しているのか。観光客を増やすための対策はあるのか。

- 新浜田市として、「広島PRセンター」の利用拡大をどのように考えていくのか。新年度の観光振興策を問う。

質問

地域づくりと少子化対策について

山田義喜議員

- ① 市長の決意と、まちづくり推進委員会の組織化促進を問う。
- ② 道路網の確立と、活動拠点の施設整備について問う。
- ③ 子育て支援と結婚問題について問う。

- ① これまでの手法にとらわれることなく、新しい発想や手法を取り入れていきたい。
- ② 組織化は、それぞれの地域に見合った形で、自主的に組織することが望ましい。

質問

- 減少の要因として、長引く景気の低迷と観光客の志向の多様化、少子化等が考えられる。平成18年度中に、現在ある4つの観光協会を統合し、観光情報の受発信拠点として整備する。
- PRセンターは、引き続き新市のPRを行う。今後は、自然体験型観光を推進していく。

答弁

- ① 道州制について
- ② JR踏切等の安全対策について
- ③ 統計情報の整備拡充について

その他の質問

- ① 道州制について
- ② JR踏切等の安全対策について
- ③ 統計情報の整備拡充について

その他の質問

- ① 自治区について
- ② 男女共同参画社会の推進について



※質問議員 吉田千昭
(栄町公衆トイレ)



※質問議員 佐々木豊治
(大辻町の銭湯・宝湯)

委員会審査結果一覧

決算特別委員会

議案番号	件名	議決結果
認定第1号	平成17年度浜田市一般会計及び各特別会計歳入歳出決算認定について	全会一致 認定
認定第2号	平成17年度金城町一般会計及び各特別会計歳入歳出決算認定について	全会一致 認定
認定第3号	平成17年度旭町一般会計及び各特別会計歳入歳出決算認定について	全会一致 認定
認定第4号	平成17年度弥栄村一般会計及び各特別会計歳入歳出決算認定について	全会一致 認定
認定第5号	平成17年度三隅町一般会計及び各特別会計歳入歳出決算認定について	全会一致 認定
認定第6号	平成17年度浜田市水道事業会計決算認定について	全会一致 認定
認定第7号	平成17年度三隅町工業用水道事業会計決算認定について	全会一致 認定

総務文教委員会

議案番号	件名	議決結果
議案第1号	浜田市附属機関設置条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決
議案第2号	浜田市総合振興計画審議会条例の制定について	全会一致 原案可決
議案第3号	浜田市国民保護協議会条例の制定について	賛成多数 原案可決
議案第4号	浜田市国民保護対策本部及び緊急対処事態対策本部条例の制定について	賛成多数 原案可決
議案第5号	浜田市防災行政無線施設条例の制定について	全会一致 原案可決
議案第6号	浜田市議會議員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決
議案第7号	浜田市手数料条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決
議案第8号	浜田市まちづくり振興基金条例の制定について	全会一致 原案可決
議案第9号	浜田市電源立地促進対策交付金事業修繕、維持補修基金条例の制定について	全会一致 原案可決
議案第10号	浜田市教職員住宅条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決
議案第27号	三隅町職員の駐車場の設置及び管理に関する条例を廃止する条例について	全会一致 原案可決
議案第28号	指定管理者の指定について（若生まなびや館）	全会一致 原案可決
議案第29号	指定管理者の指定について（浜田市東公園運動施設）	全会一致 原案可決
議案第30号	指定管理者の指定について（サンマリン浜田）	全会一致 原案可決
議案第31号	指定管理者の指定について（サン・ビレッジ浜田）	全会一致 原案可決
議案第32号	指定管理者の指定について（浜田市世界こども美術館創作活動館）	全会一致 原案可決
議案第33号	指定管理者の指定について（浜田市立石正美術館）	全会一致 原案可決
議案第34号	指定管理者の指定について（石央文化ホール）	全会一致 原案可決
議案第35号	指定管理者の指定について（浜田市浜田郷土資料館）	全会一致 原案可決
議案第36号	指定管理者の指定について（浜田市金城資料館）	全会一致 原案可決
議案第65号	朽木辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について	全会一致 原案可決
議案第66号	弥畠辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について	全会一致 原案可決
議案第91号	浜田市職員の給与の支給に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決
議案第92号	浜田市職員のうち単純な労務に雇用される職員の給与の種類及び基準を定める条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決
議案第93号	浜田市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決
議案第94号	公益法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決

福祉環境委員会

議案番号	件名	議決結果
議案第11号	浜田市福祉医療費助成条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決
議案第12号	浜田市乳幼児等医療費助成条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決
議案第13号	浜田市児童遊園条例の制定について	全会一致 原案可決
議案第14号	浜田市金城高齢者生活福祉センター条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決
議案第15号	浜田市旭デイサービスセンター条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決
議案第16号	浜田市金城在宅介護支援センター条例及び浜田市旭在宅介護支援センター条例を廃止する条例について	全会一致 原案可決
議案第17号	浜田市あさひやすらぎの家条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決
議案第18号	浜田市高齢者生活支援事業の手数料の徴収に関する条例の制定について	全会一致 原案可決
議案第19号	浜田市障害者等介護給付費等審査会条例の制定について	全会一致 原案可決
議案第20号	浜田市あさひひまわり工房条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決
議案第37号	指定管理者の指定について（浜田市総合福祉センター）	全会一致 原案可決
議案第38号	指定管理者の指定について（浜田市立養護老人ホーム長寿苑）	全会一致 原案可決
議案第39号	指定管理者の指定について（浜田市立養護老人ホームミレ岡見）	全会一致 原案可決
議案第40号	指定管理者の指定について（浜田市立特別養護老人ホームあさひ園）	全会一致 原案可決
議案第41号	指定管理者の指定について（浜田市立特別養護老人ホームミレ岡見）	全会一致 原案可決
議案第42号	指定管理者の指定について（浜田市三隅老人福祉センターミスミ荘）	全会一致 原案可決
議案第43号	指定管理者の指定について（浜田市金城高齢者生活福祉センター）	全会一致 原案可決
議案第44号	指定管理者の指定について（浜田市旭デイサービスセンター）	全会一致 原案可決
議案第45号	指定管理者の指定について（浜田市三隅デイサービスセンター）	全会一致 原案可決
議案第46号	指定管理者の指定について（浜田市あさひやすらぎの家）	全会一致 原案可決
議案第47号	指定管理者の指定について（浜田市あさひふれあいプラザ）	全会一致 原案可決
議案第48号	指定管理者の指定について（浜田市火葬場）	全会一致 原案可決
議案第49号	指定管理者の指定について（浜田市三隅火葬場）	全会一致 原案可決
議案第96号	指定管理者の指定について（浜田市あさひひまわり工房）	全会一致 原案可決
議案第97号	指定管理者の指定について（浜田市みすみ共同作業所）	全会一致 原案可決
議案第98号	指定管理者の指定について（浜田市旭火葬場）	全会一致 原案可決
議案第99号	指定管理者の指定について（浜田市弥栄火葬場）	全会一致 原案可決

産業経済委員会

議案番号	件名	議決結果
議案第21号	浜田市梨集出荷施設条例の制定について	全会一致 原案可決
議案第22号	浜田市公有林野官行造林条例の制定について	全会一致 原案可決
議案第23号	浜田市漁業集落集会施設条例の制定について	全会一致 原案可決
議案第24号	浜田市企業立地促進条例の制定について	全会一致 原案可決
議案第50号	指定管理者の指定について（浜田市都川交流促進施設）	全会一致 原案可決
議案第51号	指定管理者の指定について（多目的研修集会施設三隅中央会館）	全会一致 原案可決
議案第52号	指定管理者の指定について（リフレパークきんたの里）	全会一致 原案可決
議案第53号	指定管理者の指定について（森の公民館）	全会一致 原案可決
議案第54号	指定管理者の指定について（ふるさと体験村）	全会一致 原案可決
議案第55号	指定管理者の指定について（浜田市体験農園施設）	全会一致 原案可決
議案第56号	指定管理者の指定について（浜田市天狗石農村公園）	全会一致 原案可決
議案第57号	指定管理者の指定について（浜田市八戸川農村公園）	全会一致 原案可決
議案第58号	指定管理者の指定について（浜田市農畜産物加工施設）	全会一致 原案可決
議案第59号	指定管理者の指定について（かなぎウェスタンライディングパーク）	全会一致 原案可決
議案第60号	指定管理者の指定について（浜田市地域材利用促進交流館）	全会一致 原案可決
議案第61号	指定管理者の指定について（浜田市公設水産物仲買売場）	全会一致 原案可決
議案第62号	指定管理者の指定について（浜田市三隅特産品展示販売センター）	全会一致 原案可決
議案第63号	指定管理者の指定について（浜田市美又温泉国民保養センター）	全会一致 原案可決
議案第64号	指定管理者の指定について（森林研修センター）	全会一致 原案可決
議案第100号	指定管理者の指定について（浜田市梨集出荷施設）	全会一致 原案可決
議案第101号	指定管理者の指定について（古市場漁村センター）	全会一致 原案可決
議案第102号	指定管理者の指定について（岡見漁業振興会館）	全会一致 原案可決
請願第2号	出資法の上限金利の引き下げ等、「出資の受入れ、預り金及び金利等の取締りに関する法律」及び「貸金業の規制等に関する法律」の改正を求める請願について	全会一致 採択

建設都市委員會

議案番号	件名	議決結果
議案第25号	浜田市公共下水道条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決
議案第26号	浜田市営地域定住住宅条例の制定について	全会一致 原案可決

予算審査特別委員会

議案番号	件名	議決結果
議案第67号	平成17年度浜田市一般会計補正予算（第3号）	全会一致 原案可決
議案第68号	平成17年度浜田市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	全会一致 原案可決
議案第69号	平成17年度浜田市老人保健医療事業特別会計補正予算（第1号）	全会一致 原案可決
議案第70号	平成17年度浜田市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	全会一致 原案可決
議案第71号	平成17年度浜田市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）	全会一致 原案可決
議案第72号	平成17年度浜田市漁業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	全会一致 原案可決
議案第73号	平成17年度浜田市生活排水処理事業特別会計補正予算（第1号）	全会一致 原案可決
議案第74号	平成17年度浜田市簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）	全会一致 原案可決
議案第75号	平成17年度浜田市水道事業会計補正予算（第1号）	全会一致 原案可決
議案第95号	平成17年度浜田市一般会計補正予算（第4号）	全会一致 原案可決
議案第76号	平成18年度浜田市一般会計予算	全会一致 原案可決
議案第77号	平成18年度浜田市国民健康保険特別会計予算	全会一致 原案可決
議案第78号	平成18年度浜田市駐車場事業特別会計予算	全会一致 原案可決
議案第79号	平成18年度浜田市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	全会一致 原案可決
議案第80号	平成18年度浜田市公設水産物仲買売場特別会計予算	全会一致 原案可決
議案第81号	平成18年度浜田市老人保健医療事業特別会計予算	全会一致 原案可決
議案第82号	平成18年度浜田市公共用地先行取得事業特別会計予算	全会一致 原案可決
議案第83号	平成18年度浜田市国民宿舎事業特別会計予算	全会一致 原案可決
議案第84号	平成18年度浜田市公共下水道事業特別会計予算	全会一致 原案可決
議案第85号	平成18年度浜田市農業集落排水事業特別会計予算	全会一致 原案可決
議案第86号	平成18年度浜田市漁業集落排水事業特別会計予算	全会一致 原案可決
議案第87号	平成18年度浜田市生活排水処理事業特別会計予算	全会一致 原案可決
議案第88号	平成18年度浜田市簡易水道事業特別会計予算	全会一致 原案可決
議案第89号	平成18年度浜田市水道事業会計予算	全会一致 原案可決
議案第90号	平成18年度浜田市工業用水道事業会計予算	全会一致 原案可決

浜田市の面積は県内2番目で約690㎢琵琶湖とほぼ同じになります。各自治区の住民の声を、しっかりと市政に反映し「安心して、健やかに、楽しく住める、一体的なまちづくり」実現に一歩も二歩も近づけるために、3月定例会の一般質問は23名が発言しました。また平成18年度の一般会計予算総額375億9千万円は、35名の議員で編成した、予算審査特別委員会で、5日間の審議を経て可決され、新年度の事業がスタートしています。特に安全面では高機能消防指令センターが整備され、119番受信体制の集中管理が新システムで運用開始されることになりました。議会は心強いものです。議会より編集委員は、新しい息吹で紙面の充実に心掛けてまいりますので、「ご意見」「ご要望をお寄せ下さい。次の定例会は6月です。多くの皆さまの傍聴をお待ちしています。

あとがき